

第 19 回池田町行財政改革推進委員会議事録

日時：令和 4 年 4 月 27 日

午後 1 時 30 分～5 時

場所：オンライン会議（ZOOM）

出席者（敬称略）

○委員 8 名：（名簿掲載順）

和澤忠志、宮嶋将晴、山沖義和、辻庄市、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治

○事務局（総務課）3 名：

宮澤達（課長）、塩原長（企画係長）

○関係課 1 名：

寺嶋秀徳（学校保育課長）、山本智通（危機対策幹）

欠席者（敬称略）

○委員 1 名：

赤田伊佐雄

（司会：宮澤達）

1. 開会（丸山副会長）

2. 会長あいさつ（山沖会長）

現在ウクライナの情勢が悪く、原油価格の値上がりとともに円安の影響も広がっており、物価もじわじわと高くなってきている。先日、財務省の同期と話していても、「これから先、給料は上がらず、物価だけが上がるという状態に陥るのではないか」という懸念を示す人が多い。

この先、池田町の行財政改革を考えるにあたって、これまで以上に、便益に見合ったコストなのかどうかを見極めなければいけないと思う。

今日はいろいろな資料もあり、効率よく話を進めたいので、よろしく願いしたい。

3. 第 6 回第 3 総務部会報告

事務局（塩原係長）

4 月 21 日（木）午前 10 時～ オンラインで開催。

<記載の通り報告>

4. 協議（司会：山沖会長）

(1) 諮問事項 2 「公共施設の管理運営の改善に関する事」について

山沖会長

では、4月15日、21日に宿題としていた資料について、町からの説明をお願いしたい。

なお、「4/21部会での宿題」の趣旨は、前回資料の9ページに、令和7年度に会染小学校の大規模改修設計、8年度着工と書かれていたので、どのような内容で改修するのか、またH26からH30まで行われた池田小学校の大規模改修の内容と費用について明らかにしてほしいということだ。

寺嶋学校保育課長

① 1ページ 4/15委員会での宿題

「小学校について障害の種類によって教室を分けているかと思うがその内訳」

② 1ページ 4/21総務部会での宿題

「会染小、大規模改修の内容 他」

③ 2ページ 保育園の定数

④ 3ページ 0歳～15歳転入件数（年度末の数値）

⑤ 4ページ 池田、会染保育園の園児数等の推移

<以上について、資料に基づき説明>

山沖会長

以上の説明について質問があればどうぞ。

村端委員

1ページの「4/21部会での宿題=R7、8に行う理由」について、「会染保育園の施設老朽化対応との関連事項」とは何か、詳しく説明を。ほとんど同時にやるということがメリットとも受け取れる。

寺嶋学校保育課長

当初令和6年設計、7年大規模改修着工の予定だったが、1年先送りしたという意味だ。なぜなら、優先順位としてまず会染保育園の老朽化対応があり、会染小学校の大規模改修は長寿命化の中での対応を目的としている。従って、小学校の改修を数年先送りしたとしても、会染保育園の対応を優先すべきだということで、このように書いている。

村端委員

小学校の大規模改修は、もう少し先送りしてもよいという意味か。

寺嶋学校保育課長

言えることは会染保育園を優先したいということだけであり、会染小学校の大規模改修

をさらに先延ばししてもよいかどうかは別の話になるので、担当課としてはここでは明言できない。池田小学校、高瀬中学校の大規模改修はすでに終わっているので、財政状況が許せば、会染小学校も出来るだけ早く計画的に行いたいと考えている。

山沖会長

実施時期の調整については、「会染保育園について R8 スタートでなければならない理由」でも尋ねているので、後でもう一度取り上げたい。

1 ページの同じ箇所、「既存不適格の指摘はない」とあり、当面延期できると読めるが、その点はどうか。

寺嶋学校保育課長

一定期間の中であれば先送りしても施設の面からはそんなに問題はない。ある一定期間に長寿命化を行えば、その施設全体が長く使えることになるので、しっかりとした計画を立てるべきだと思う。数年の先送りは可能だ。

山沖会長

改修期間は、令和 8 年度～11 年度の 4 年間と理解してよいか。

寺嶋学校保育課長

その通りだ。

山沖会長

池田小学校と比べて、放送設備や電気設備が入っているが、会染小学校はそれらが特に弱いということなのか。

寺嶋学校保育課長

池田小学校では大規模改修を行ったが、学校の中の設備関係については未改修になっている。屋根の塗装についても 5 年間の改修では行っていない。学校毎に改修の内容は異なってくる。会染小学校から、とくにここはという要望があったと受け止めてほしい。

山沖会長

池田小学校もまだお金がかかるということか。

寺嶋学校保育課長

改修はまだ残っている。

山崎委員

会染小学校の大規模改修の箇所はこれでわかるが、2億5千万円がどのように配分・積算されているのか、当時の見積もりを開示してほしい。

山沖会長

今すぐは難しいと思うので、出来るだけ早く示してほしい。

寺嶋学校保育課長

いま手元にはないので即答はできない。山崎委員の質問は、2億5千万円のうち、どのような改修部分があり、それにどれだけのお金がかかるのか、その内訳を知りたいという趣旨か。

山崎委員

ここでは改修箇所のみ示されているので、併せて見積もりの金額も示してほしい。財政危機を回避していく上で一番大事な資料となる。精査をする必要がある。

辻委員

転入者数の説明の中で「転出もあるので」と説明されて、また分からなくなっている。

3月25日の会議録によると、丸山係長から「最近の傾向としては、30～40人の子どもが生まれ、小学校に入る頃には60人くらいになる。出生数に20～30人の社会増が上乗せになる」との説明が行われている。「出生数に20～30人の社会増が乗る」というのは正しいのか。社会増のボリュームが分からない。

塩原係長

おそらくイメージで話していたのではないか。

辻委員

今年の6年生60数名の中に、社会増の児童が何人いるのかを示してほしい。

寺嶋学校保育課長

令和3年の6歳が小学校入学年齢に当たる。

辻委員

小学校の入学者が6歳とすれば、1年前の5歳、2年前の4歳・・・これらの合計が転入者の合計だろうと思われる。

寺嶋学校保育課長

表を斜めに見ていけば、転入者の傾向が分かる。

辻委員

だとすれば、相当なボリュームになる。しかし、実際はどうか。それがないと将来設計が狂ってくる。

転出者も含めて、社会増が実際にはどれだけあるのか、分かるような説明をお願いしたい。今すぐでなくてよいので、分析をして出して頂きたい。

山沖会長

6年生では、62人が出生数で、現在の児童数は67名。社会増は5、6名という水準ではないか。転出も聞かないと、どれだけの純増なのかは分からない。ともかくデータは次回までに出してもらいたいが、よろしいか。（事務局および課長：了解）

山沖会長

皆さんからアンケートの結果が出されているので、それぞれ、一括してポイントを説明して頂くことにしたい。結論だけではなく、それらの背景も含めてご説明をお願いします。

<以下、各委員から各自のアンケート記載の意見をもとに、順に説明が行われた。発言の詳細は、別紙「保育園・小学校等のあり方に関するアンケート集計」の通り>

<休憩>

山沖会長

保育園については、統合であれ建て替えであれ、R7に設計をR8には供用を開始するということなので、「会染保育園についてR8スタートでなければならない理由」について、まず町から説明を聞きたい。

寺嶋学校保育課長

<別紙「Q:会染保育園についてR8スタートでなければならない理由」（1～6ページ）に基づいて説明>

山沖会長

質問・意見があればどうぞ。

山崎委員

会染保育園に関して72名の町民アンケートの話があったが、提出者の年代構成はどうなっていたか。町民の意見を見る上で大きな目安になる。

寺嶋学校保育課長

アンケートに先だって、令和3年の11月に説明会を3回行っている（1回目：交流センター、2回目：会染児童センター、3回目：会染小学校体育館）。2回目には、未就園の保護者の方にも参加してもらっている。

パブリックコメントを寄せて頂いた72名の年代構成は把握していない。5、6名の未就園の保護者からもアンケートは出してもらっているが、概ね統合しても構わないという意見があったので意外だった。車を使って送迎しているので、多少遠くなってもそれほど問題ではないということだった。これらの人は72名の内の一部であることと、統合を容認するというのも、あくまで現地で参加者から受けた印象だ。

山崎委員

アンケートを見ると、保育園をどうするかについては行革委員の間でも意見が二分している。財政、教育、地域の発展など大きな問題に関わるので、町議会議員の間での議論が必要だし、町長が選挙の争点にすべき大きな問題だ。

そのために、まず、子どもが保育園や小学校に通園・通学する家庭の方にアンケートを行うことは行政として出来ないことなのか。その結果も踏まえた、民意を反映した方向付けが必要ではないのか。

寺嶋学校保育課長

研究部会でも住民の方々の意見を聞く必要があるという話になって、昨年パブリックコメントに先だって説明会を3回行い、ホームページでも内容を紹介した。その結果が72名のパブリックコメントだった。これは部会を通しての取り組みだったので、同じことを行政が行うことは想定せず、今のところ予定していない。部会で出された結論を受け止め、2案に絞られた経緯を尊重している。

山崎委員

パブリックコメントを出した人の世代が分からない。行革委員会としては、もう一步踏み込んだ町民の意見を知りたい。

山沖会長

改めてアンケートというのは難しいだろう。年代構成は分からないながらも、72名のうちの7割くらいの方が保育園を統合してもよいのではないかと考えていることは事実だ。

整理の仕方としては、①統合あるいは建て替えて2園残すという両案を一括で考えるか、

②園児数、児童数の推移を見極めるために決定を先延ばしし当面どうすべきかを考えるか、の二つがある。②でも、必要最小限の改修を行う必要があるだろうし、一方で、令和8年度までに統合できるほどに園児数が減ってしまうのであれば、改修する必要もないのかもしれない。これらを踏まえてもう少し意見交換を行いたい。

村端委員

私自身は、存続前提で建て替えもしくは改修という意見だが、これまでの審議会や町の検討から「改修」が保育園の方向性から除かれて、結局建て替えか統合かという2案になった経過が明瞭ではない。大規模改修にしても、建て替えにしても費用があまり変わらないから、建て替えの方がよいという選択になったのか。改修であれ建て替えであれ、現状に合わせて試算し直す必要があるのではないか。改修する場合に費用がかなり安くできる、あるいは建て替えるにしても6億円より抑えられるという試算があってもよい。それを出来るだけ早く出してみる必要があるのではないか。町の考えを聞きたい。

山沖会長

建て替えは、それなりに費用がかかるだろうが、改修には実際にどれだけかかると見ているのか。1億円以上かかるのか、それ以下で抑えられるのか。

寺嶋学校保育課長

研究部会でも、実際、大規模改修という案を検討はしているが、最終的には、①移転新築、②現地建て替え、③池田保育園への統合の3案に絞った。ただ、大規模改修についての新たな試算となれば、設計士に専門的な試算をしてもらう必要があるが、令和3年当初の検討では、平成27年に建築検討委員会に出された資料を使ってきた。しかし、もともとの部会の目的が保育園の方向性を出すことにあった。会染保育園の老朽化に早く決着をつけることが部会の役割だったために、大規模改修については検討はしたが、最終的には案から除かれた。

山沖会長

検討したときの金額はいくらだったのか。

寺嶋学校保育課長

平成27年の資料をそのまま使っており、5年以上経っているので見積もりし直す必要があると断った上で出している。試算では約9千万円程度となっていた。平成25年度の保育園の建築後に考えていたのは1億円程度の大規模改修だったが、結局、新築であるべきという反対意見があったため、計画が頓挫してしまった。もともとは当時の金額でその程度を考えていた。

丸山委員

9千万円もしくは1億円程度の改修費で、現在の園舎を安全に使えるということであれば、当然改修で維持する方向に行くのではないかと思われる。にもかかわらず、これまでは新築という方向で動いてきたという理解でよいか。

寺嶋学校保育課長

平成27年の建設検討委員会の答申が前提にあるので、それは無視できなかった。令和2年に立ち上げた部会でも、新築移転の案を無視できないという意見があった。

丸山委員

平成27年段階では、まだ財政も潤沢だったと理解してよいのか。そうであれば、その後、池田町の財政状況が悪化してくるわけだが、その時点でもう一度方向性を探り、会染保育園のあるべき姿を検討することが議論の話題に上がってこなかったのは何故か。これは避けて通ることができないことだったのではないか。

平成27年当時に、新築という方向性が出されたことは理解できる。しかし、その後状況が悪化してきたことを踏まえれば、現段階では新築に何億円ものお金を拠出することは大変困難だ。当時は新築を考えたとしても、令和2、3年の議論の中では「1億円程度の大規模改修で済むのなら町も対応できるはずだ」という意見はなかったのか。

寺嶋学校保育課長

当時は、検討委員会には保護者の方も入っていたし、会染地区の思いとしては新しい園舎がほしいという意見は確かに強かった。財政状況を加味していなかったわけでは決してなく、財政状況を考えれば池田保育園と統合すべきだという考えは当然強かった。方向性を決めることを部会の第一目標にしていたために大規模改修という考えが除外されたということだ。大規模改修が最終的なゴールとするのは少し違うのかなと思う。

辻委員

5年前の試算で1億円弱であったことは理解したが、1億円程度の改修をした場合に何年くらい延命が図られるのか、さらに、もしそれがかなり長期間だとして、とりあえず5年位の延命を図る場合には、もう少し少ない金額で済むのかどうか。

寺嶋学校保育課長

当時の大規模改修の考え方は、池田保育園は新築するが、会染地区の保育園も同じ時期の建設期間にどう対応するのかを考えた上での大規模改修、すなわち、新築の池田保育園に見合う程度にするという意味の大規模改修を行うという趣旨だったので、対応年数としてはかなりの年数を想定していたことは間違いない。

村端委員

先ほどから、平成 27 年の案として新築移転の話が出ているが、その後 3 案を出した中間答申があった。私もパグリックコメントを出しているが、その 3 案が出された後に、教育長が意見を出した人を招いて懇談会をやっている。その際に、新築移転に賛成する意見は全くなかった。そのために、結局 2 案に絞られることになったわけで、そこには改修という視点は全くなかった。現地建て替えか統合という 2 案になったのは、平成 27 年の答申に引きずられているのではないかという気がする。

寺嶋学校保育課長

先ほど申し上げた通り、平成 27 年の答申が行政側に出されたという捉え方があるので、それを受けた方向性の再検討になってきた。

村端委員

ここで改めて、財政状況や少子化の状況を踏まえて、2 案と同時に現地での改修というプランを提示することは全く問題ないし、そのための試算をし直す必要性も出てきている。

宮嶋委員

行革委員会の委員アンケートを見ても、統合か建て替えかでは拮抗しており、その中にはまだ不確定要素が多数ある。そこに第 3 案が浮上してきている。

とりあえずこの時点では第 3 案を軸にして、「1 億円～1 億 5 千万円をかけて改修して当座しのぎを行う、その後においては不確定要素についても先が見えてくるので、その時点で改めて行政として町民を交え判断する」ということを答申内容としてはどうか。

ここで、統合か建て替えかのどちらかにするというのは難しい。

一番いいのは 2 園存続で、そのためには子どもの数を増やすための行政の施策が必要だ。建てるか建てないかの議論をしているより、子どもの数をいかに 1 人でも増やすか、それにはどうするかを行政がここ数年真剣に取り組み、出た結論・成果を見ながらその後の対応を考えればよい。成果がなければ統合だし、成果が上がれば存続した成果があったということになる。

滝沢委員

現地での改修で気になることがある。会染保育園の地下水の水位が高く、トイレのトラブルが何度もあったとある方から聞いたことがある。現在はどうなっているか。その方は、建て替えるにしても改修するにしても無理だと話していた。

寺嶋学校保育課長

その点は把握しており、そのような場所であるという認識はあるが、最近はそのようなトラブルは聞いていない。現地建て替えの場合は、それなりに土壌の改良、排水の工法をとる必要がある。

村端委員

現地で改修するにしても、水害の問題は無視できない。しかし、水害は地震と違って、事前に予測できる。そのような場合は、児童センター、あるいは会染小学校との連携によって、避難の場所をきちんと協議をし、計画を立てておく必要がある。これを前提として改修を行うことが大事だ。

和澤委員

教育委員会で令和 2、3 年度に 2 年かけて方向付けを検討してきた。その結果最終的に 2 案に絞り、令和 4、5 年で結論を出すことになった。行財政改革委員会で、それに改修を付け加えるとなると、いままで検討したものが一体何だったのかということにならないか。もしこの後、平成 27 年の答申のように新築移転という案が出てきたら、さらに混乱する。

教育委員会は、このような改修という案を出しても差し支えないのか、見解を聞きたい。

寺嶋学校保育課長

行革委員会が新たな提案をしたとしても、研究会最終答申の 2 案はすでに議会にも報告しており、あとは町で令和 4、5 年の 2 年間で検討し方向付ける段階なので、それに 1 つ案が加わるだけだ。出して頂くことについては特段問題はない。

山沖会長

念のために聞くが、池田保育園に統合するときは増築が必要で 4 億円かかるとなっているが、将来収容可能な人数になった場合には増改築せずに単純に統合となり、4 億円節約できると考えてよいのか。

寺嶋学校保育課長

将来の子どもの数がどうなるかが最大のポイントなので、統合になったときに 1 園で収まるような数であれば当然増築する必要はない。

山崎委員

大規模改修の方向で進めるのはよいが、事務局では見積もりを早急に提示してもらえないか。

山沖会長

見積もりを取るとしたらどの位の期間がかかるか。

寺嶋学校保育課長

予算を伴うことなので、行革の答申が正式に出ないと進められない。2案に絞ったところまでが行政としての現状なので、見積もりをとるといふ行動には移れない。

山沖会長

宮嶋委員の提案について、委員の皆さんから意見はあるか。(特になし)

1億円程度、あるいはそれ以上かかるかもしれないが、とりあえず必要最小限の改修を行い、将来園児数・児童数が見極められたところでその先を考えるとということにしたい。それでよいか。(異議なし：確認)

その際、水害対策については、答申本文とは切り離して注意事項として入れることはできる。最終的にどうするかは、委員の皆さんに相談させて頂く。

和澤委員

大規模改修となれば、期間が3～6ヶ月かかると、一時的に会染保育園の園児をどこかに移さなければならない。平成27年の頃は北保育園が対象施設として考えられていたが、今は全く使えない。その点どう考えるか。

寺嶋学校保育課長

北保育園は、長期間使っていないために仮住まいとしても現状では難しい。池田保育園では、そのまま入らないので、検討しなければならない課題だ。

山沖会長

大規模改修とはいっても何次かに分けることもできるので、使いながら工事を進めるといふこともできる。ボイラーは、使えるだけ使って、いよいよダメだというときに直してもよいだろう。

寺嶋学校保育課長

職員が一番心配しているのはボイラーだ。あとは、環境面では、エアコンが夏に必要なので、季節に合った使い方ができるようにすることが必要だ。

山沖会長

建て替えではないので、使いながら工事を進めることもできるのではないかと。

寺嶋学校保育課長

可能性としてはそれもある。

山沖会長

大規模改修というと、一斉に工事を開始するように聞こえるが、そうではなく、今後の運営に必要な改修を行うということではないのか。

宮嶋委員

1億円の業者の見積もりの中身だが、一斉にすべての改修を進めるわけではないので、おそらく園舎の前にプレハブの仮設を建てて、部分的に改修をし、年長が終われば次は年中・・・というように業者は進めていくはずだ。進め方は業者に任せればよい。現地建て替えになると、さらに困る。大規模にどこかにプレハブを建てる、あるいは、園児を分散収容する必要が出てくる。その点、大規模改修といっても、部分的にやっていくのであれば問題は無い。

辻委員

正式に決定しない限り見積もりは難しいという話だったが、改修という方向を打ち出して、見積もりを取ってみたら2億、3億だったというのでは困る。答申の段階では、そうならないような歯止めの工夫が必要ではないか。

寺嶋学校保育課長

平成27年当時と比べて資材の高騰などが予想される。1億円という数字が先に出てしまうと逆に心配だ。

山沖会長

当時の1億円というのは新築同然にしようという大規模な改修なので、そこまでするといってなければ、最終的には1億円、2億円になっても、徐々にやっていくことにすれば、あるところで見極めができる。

寺嶋学校保育課長

平成25年当時に町が考えていた大規模改修とは意味が異なる。行革委員会の意見は、当面をしのぐような改修と考えてよいか。

山沖会長

最長10年位もつという考え方でよいと思う。

小学校についても、改修をして、もう少し見極めをするということにしたい。細かい点は、総務部会で相談をしたい。

今日はここまでにして、次回は文化・社会系施設などの次のテーマに移りたい。

5. 今後のスケジュール

事務局（塩原係長）

- ① 冒頭、辻委員から子どもの社会増の話が出たが、資料をすでに用意してあったので説明したい。＜別紙「年齢別出生数と社会増減」に基づいて説明＞
- ② 次回以降の委員会予定
第20回委員会 5月12日（木） 午後1時30分～4時30分 役場2階大会議室
第21回委員会 5月25日（水） 午後1時30分～4時30分 オンライン（ZOOM）
- ③ 行革ニュースレター第3号 今日発行した。

6. 閉会（丸山副会長）